



福生二中だより

No. 5

令和7年8月28日発行

福生市立福生第二中学校

TEL 042(551)1970

校長 平井 貞昭

家庭の教育力

1学期を大きなトラブルもなく無事に終えることができましたのも、学校教育とともに御家庭での貴重な教育力のおかげと認識しているところです。家庭の教育力とは、文字どおり「家庭が子供を教育する力」のことです。これは、単に知識やスキルを教え込むだけでなく、子供が社会の一員として生きていくために必要な、生活習慣、社会性、道徳観、自立心などを育む総合的な力を指します。これらの力を育むために家庭の教育力が必要とされています。

しかし、近年では、様々な要因でこの「家庭の教育力」が低下していると言われています。とりわけ、課題とされていることが、「親子のコミュニケーション不足」です。共働きや忙しさから、親子でゆっくりと話す時間が減少し、コミュニケーション不足になると分析されています。また、文部科学省が子どもの学力などを見る「2024年度経年変化分析調査」の結果によると、学力が大幅に低下した要因として、家庭での勉強時間が減少する一方で、ゲーム・スマートフォンの使用時間の増加が明らかになっていると指摘しました。

この調査では、家庭での勉強時間（中3で1時間23分）を、ゲーム・スマートフォンの使用時間（中3で1時間56分）が上回っています。また、保護者のスマートフォンの使用時間が多いほど、子どものスマートフォンの使用時間も多くなっているとのこと。もしかすると、「親子のゲーム・スマートフォンの使用時間の増加」→「親子のコミュニケーション不足」→「学力低下や家庭の教育力の低下」という残念な現象に陥っているのではないのでしょうか。

そこで、2学期も引き続き、お子様との「対話」を大切にしていきたいと思えます。「対話」によって自分の価値観や考えを開示し、共有することで、自分の考えを深めていくことができます。また相手の価値観に触れることで視野が広がり、自分の考えを変えることにもつながります。

これまで、「対話」を大切にしてくられた御家庭につきましては、大変ありがたく思えます。引き続き継続していただきますようよろしくお願いいたします。また、そうでない御家庭につきましては、様々な諸事情はあろうかと思いますが、短時間でもお子様との「対話」を大切にしていれば幸いです。

「対話」をする際には、次の点を意識していただけるとありがたいと思えます。

- ①互いに尊重しあうこと
- ②個人の価値観を否定しないこと

しかし、間違った考えであれば、しっかりと否定することも大切です。また、「対話」により、語彙力や表現力も鍛えられます。語彙力と表現力を鍛えることは、人間関係を形成する上でとても重要です。なぜなら、人間関係でトラブルを起こす多くの場合が、相手への不適切な「言葉」や「表現」が原因となっているからです。今一度、お子様との「対話」について振り返ってみてください。

2学期も本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

【二中学生の活躍】

吹奏楽部 東京都中学生吹奏楽コンクール金賞

第25回東日本学校吹奏楽大会出場決定

陸上部 第71回全日本中学校通信陸上競技大会

男子共通 走幅跳 第8位 6m23 浅野 奏太

陸上部 第70回西多摩郡陸上競技選手権大会

男子中学共通 走幅跳 第2位 6m05 浅野 奏太

女子中学共通 100mH 第2位 16秒34 山崎 みなみ

女子中学共通 砲丸投 第2位 8m74 竹内 南

男子中学1・2年 4×100m 第1位 50秒21 浜田昊磨 小島煌太 平野楓太 畑中文努

陸上部 第37回東京ジュニア陸上競技大会

男子3年 走幅跳 第5位 6m18 浅野 奏太

女子3年 砲丸投 第7位 8m34 竹内 南

女子3年 100mYH 第7位 16秒43 山崎 みなみ



道徳授業地区公開講座に御参加ください!

8月30日(土)に道徳授業地区公開講座を実施します。より多くの保護者と本校の道徳について意見を交わす大変貴重な行事です。授業を御参観のうえ、意見交換会も御参加ください。